

■ 新千歳空港工事現場見学会を開催しました

北海道開発局 札幌開発建設部 空港対策官

札幌開発建設部では、平成30年10月17日(水)に新千歳空港において、関係自治体を対象とした「新千歳空港工事現場見学会」を開催しました。

この見学会は、空港整備事業を紹介することを目的に平成24年度から開催し、今年で7回目を迎え、千歳市、苫小牧市などの関係自治体や報道機関から23名の方々に参加いただきました。

現在、新千歳空港では、昨今の新千歳空港における国際線旅客の急激な増加に対応するため「新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業」を進めていますが、今年度においても航空機導線の変更による混雑緩和と地上走行距離の軽減を図るための「南側誘導路の新設事業」、駐機スポット数の拡大による訪日外国人旅行者の受入れ機能の強化を図るための「国際線エプロン

の拡張事業」に関連する工事について見学いただきました。

見学会当日は、千歳空港建設事業所において中村所長から事業の目的、工事の概要についての説明の後、工事現場に移動しました。

工事の施工箇所を見学後、工事現場では、誘導路の造成に伴う構内道路の地下化の延長や航空機が駐機するエプロン舗装の面積など施工に関することやその他本事業の実施内容などについて活発な質疑応答が繰り広げられ、見学者の皆さんには空港整備事業に興味を持っていただいたものと実感しております。

今後とも新千歳空港の整備についての理解を深めていただく取組を引き続き進めて参りたいと考えています。



見学状況（構内道路地下化工事）



見学状況（国際線エプロン工事）



出典:札幌開発建設部 千歳空港建設事業所

新千歳空港国際線ターミナル地域再編事業完成イメージ